

重要課題専門調査会

- ◆ **重要課題専門調査会は、科学技術基本計画及び総合戦略に掲げられた、当面取り組むべき重要な課題、並びに、今後さらに取り組むべき課題**について、調査・検討を行う。

科学技術総合戦略 2016

第1章

- (1) 新たな経済社会としての「Society5.0」(超スマート社会)を実現するプラットフォーム
- (2) 「Society5.0」(超スマート社会)における基盤技術の強化

第2章

- (1) 持続的な成長と地域社会の自律的な発展
 - I エネルギー、資源、食料の安定的な確保
 - ・エネルギーバリューチェーンの最適化
 - ・スマート・フードチェーンシステム
 - ・スマート生産システム
 - II 超高齢化・人口減少社会等に対応する持続可能な社会の実現
 - ・世界最先端の医療技術の実現による健康長寿社会の形成*
 - ・高度道路交通システム
 - ・健康立国のための地域における人とくらしシステム
 - III ものづくり・コトづくりの競争力向上
 - ・新たなものづくりシステム
 - ・統合型材料開発システム
- (2) 国及び国民の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活の実現
 - I 効率的かつ効果的なインフラ維持管理・更新・マネジメントの更新
 - II 自然災害に対する強靱な社会の実現
 - III 国家安全保障上の諸課題への対応
 - IV おもてなしシステム
 - (3) 地球規模課題への対応と世界の発展への貢献**
 - ・**地球環境情報プラットフォームの構築**
 - (4) 国家戦略上重要なフロンティアの開拓

第5期科学技術基本計画

2章

- (2) 世界に先駆けた「超スマート社会」の実現 (Society5.0)
- (3) 「超スマート社会」における競争力向上と基盤技術の強化

3章

- (1) 持続的な成長と地域社会の自律的な発展
 - ① エネルギー、資源、食料の安定的な確保
 - ・エネルギーの安定的な確保とエネルギー利用の効率化
 - ・資源の安定的な確保と循環的な利用
 - ・食料の安定的な確保
 - ② 超高齢化・人口減少社会等に対応する持続可能な社会の実現
 - ・世界最先端の医療技術の実現による健康長寿社会の形成*
 - ・持続可能な都市及び地域のための社会基盤の実現
 - ・効率的・効果的なインフラの長寿命化への対策
 - ③ ものづくり・コトづくりの競争力向上
 - (2) 国及び国民の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活の実現
 - ・自然災害への対応
 - ・食品安全、生活環境、労働衛生等の確保
 - ・サイバーセキュリティの確保
 - ・国家安全保障上の諸課題への対応
 - (3) 地球規模課題への対応と世界の発展への貢献
 - ・地球規模の気候変動への対応
 - ・生物多様性への対応
- (4) 国家戦略上重要なフロンティアの開拓

- ◆ 詳細は**戦略協議会、WG、検討会、分科会**を設置して検討する。

各戦略協議会・WGの位置づけ

総合科学技術・イノベーション会議

重要課題専門調査会

エネルギー
戦略協議会

次世代インフラ
戦略協議会

新産業
戦略協議会

農林水産
戦略協議会

環境WG

エネルギー・環境
イノベーション
戦略推進WG

地域における人とくらしのWG

システム基盤技術検討会

ナノテクノロジー・材料基盤技術分科会

- 戦略協議会は、第5期基本計画策定の検討を軸としている総合戦略2016に示された課題に基づき設置。
- 第5期基本計画第2章に示される基盤技術については、システム基盤技術検討会で検討。
- 「地域における人とくらしのWG」は、医療・介護等の専門的な内容を含む協議のためにWGを設置。
- 「世界最先端の医療技術の実現による健康長寿社会の形成」は健康・医療戦略室で実施。
- 地球温暖化対策推進本部およびCOP21における総理指示に対応する、エネルギー・環境イノベーション戦略策定WGを2015年に設置。
エネルギー・環境イノベーション戦略が閣議決定されたことによりエネルギー・環境イノベーション戦略推進WGに名称変更。

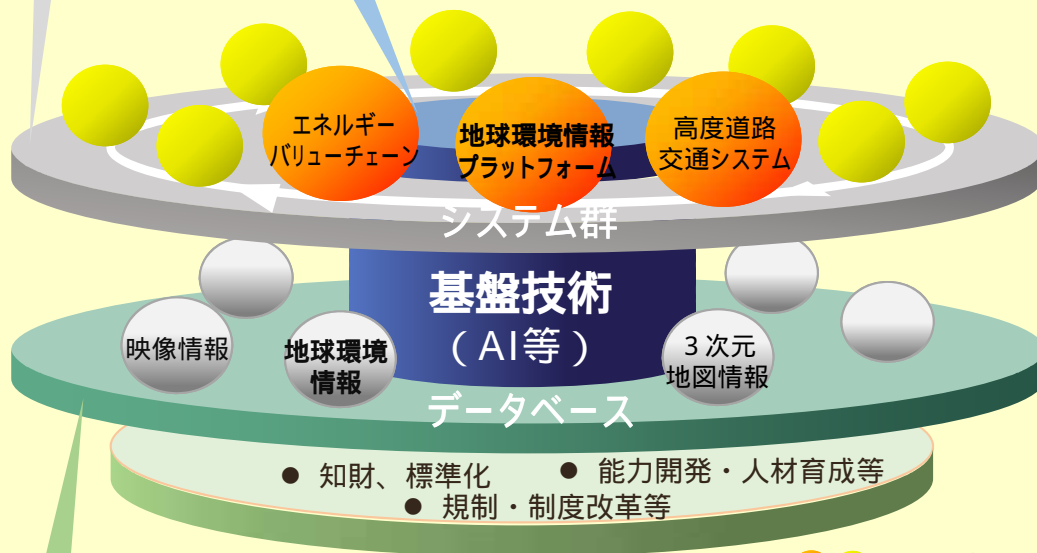
「Society 5.0」を実現するプラットフォームの構築

ICTを徹底的に活用して経済成長と社会課題の解決の両立を目指す「Society 5.0」を実現するためのプラットフォームの構築を推進する。

Society 5.0プラットフォーム

- 総合戦略2015で定めた11システムのうち「高度道路交通システム」「エネルギーバリューチェーンの最適化」「新たなものづくりシステム」をコアシステムとして開発し、他システムと連携協調を図り、新たな価値を創出

- 基盤技術（AI、ネットワーク技術、サイバーセキュリティ等）の強化



- 新たな価値・サービス創出の基となるデータベースを整備

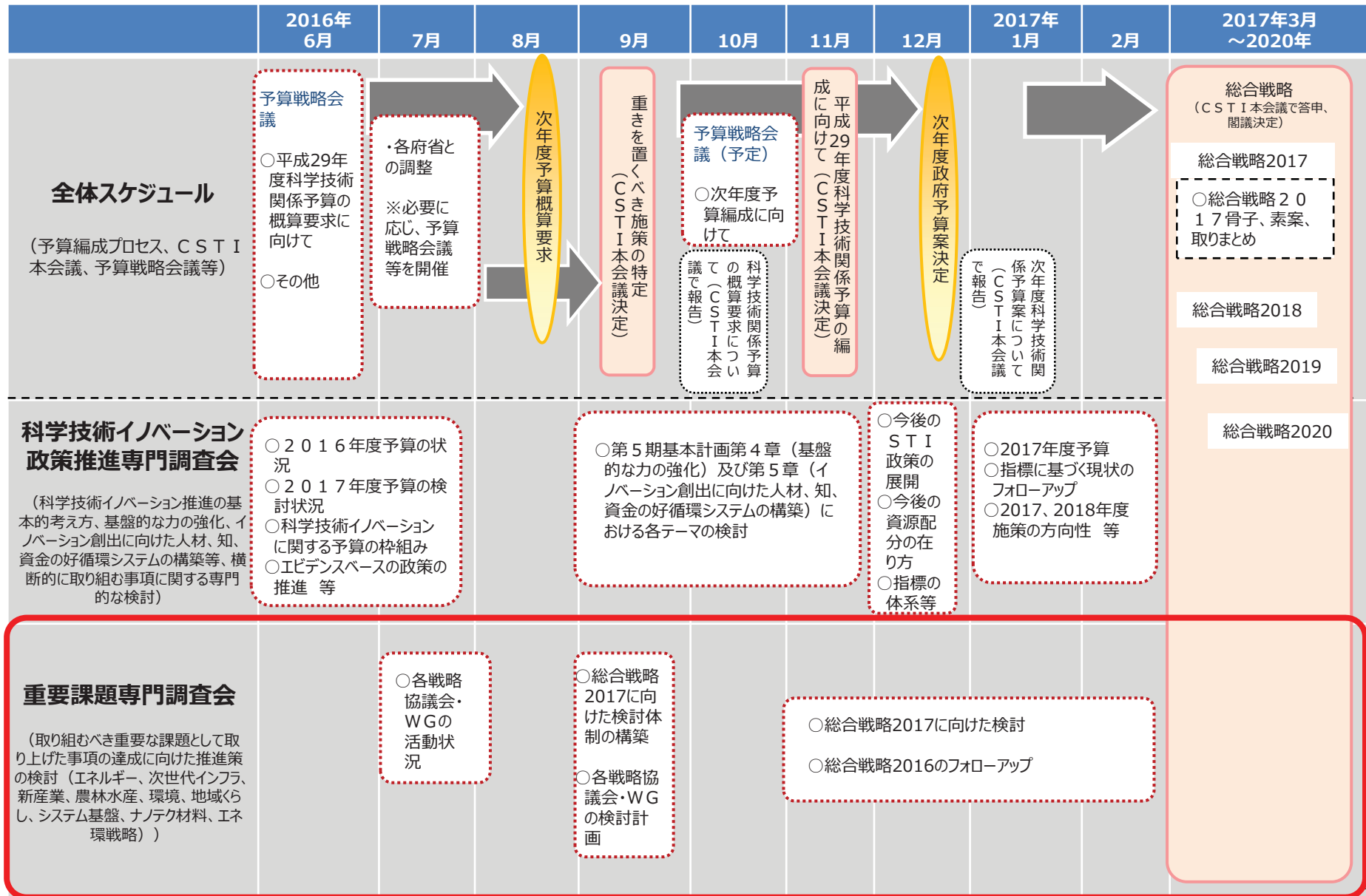
AIは、IoT、ビッグデータ解析を含む

地球環境情報プラットフォームに関する特定施策の例

地球環境の観測・予測データ及び経済・社会問題に関連した各種データを統合した情報基盤（地球環境情報プラットフォーム）を構築し、この情報基盤の活用により気候変動に起因する各種経済・社会的課題（海面上昇、降水量の変化に伴う耕作適地の変化、水害防止等）の解決に貢献する。

省庁名	施策名	H29年度概算要求額 (概算：百万円)
環境省	衛星による地球環境観測の強化	4,549
環境省	気候変動適応情報プラットフォームを活用した地域における適応の取組推進と科学的知見の充実	19,823の内数 + 1,169
文科省	気候変動対応等に向けた地球観測衛星の研究開発	1,810
文科省	地球環境情報プラットフォームの構築及び研究成果の社会実装の推進	3,021
文科省	北極域研究の戦略的推進	880及び運営交付金 35,832の内数
国交省	気候変動の中長期予測の高精度化	34
総務省	衛星搭載センサの性能向上と地球観測データ実利用化に資するデータ提供	NICT運営交付金 29,597の内数

第5期科学技術基本計画及び科学技術イノベーション総合戦略に基づく 年間スケジュールのイメージ（素案）



平成28年度重要課題専門調査会のスケジュール

